

ときめき人

Tokimeki bito



全国防具付空手道選手権で優勝。常に勝利をイメージし、連覇を目指す

中田町・加賀野一

菅原 朱莉さん

すがわら・あかり
2007年生まれ 血液型/A型

Profile

加賀野小学校2年。3歳の妹莉子ちゃん^{りし}と2人姉妹。4歳から空手を始める。好きな食べ物はイチゴ。学校では飼育係を担当し、花の水やりなど植物の世話をしている。妹の面倒を見る優しい女の子。

第53回全国防具付空手道選手権大会(全日本空手道連盟錬武会主催)は9月23日、東京武道館で開催され、組手少年女子小学2年生の部で優勝しました。

決勝の相手は、同じ宮城県から出場した選手。今までに何度か対戦したことがあり、負けたことはありませんでした。相手に1本も与えず、得意の中段回し蹴りで2本先取り勝利しました。「お父さんの声援がはつきり聞こえた」と、父克典^{かつのり}さんの応援も力になりました。克典さんは「冷静に試合を運べるようになった。心も強くなった」と、試合を振り返ります。

空手を始めたのは、「ぜんそくで体が弱かった娘に、少しでも体を鍛えさせたい」と考えていた克

典さんから勧められたのがきっかけでした。初めて組手をしたときは、突きや蹴りの痛さに驚きましたが、回を重ねることで慣れました。

印象に残っている試合は昨年の県秋季大会。小学1・2年生を対象とした団体戦に出場しました。決勝戦で気仙沼市と対戦。1勝1敗1分で延長戦に突入し、代表戦にもつれ込みました。朱莉さんの相手は2年生。「年上でも負けない」と気合いを入れ臨みましたが惜しくも敗北。悔しくて泣いてしまいましたが次は絶対負けないと心に誓いました。

「負けると思ったら負ける。勝てると思ったら勝てる」が座右の銘の朱莉さん。連覇を目指し、今日も練習に励んでいます。

編集後記

▼ドリーム☆キッズを取
材。昨年は一観客として現
場に。今年あらためて思っ
た。子どもたちの名演も去
ることながら、さまざまな
メッセージや登米市の風
土を織り込んだ脚本は秀
逸。子どもたちが輝くため
には、大人がしっかりとしな
ければならないというメッ
セージを受け取った。さあ
頑張らないと。(及川)

▼空気も冷たく澄んですつ
かり秋ですね。秋と言え
ば、芸術の秋、スポーツの
秋、読書の秋などあります
が、皆さんはどんな秋を思
い出しますか？私はやっぱ
り秋の味覚を楽しめる「食
欲の秋」です。皆さんもい
ろいろな秋をお楽しみくだ
さい。(佐藤)

▼毎月発行している広報。
編集していただいて改めて感
じることがあります。それ
はより良い広報紙を作るた
めには、机に座り考えてば
かりいるよりも、「現場に
行く」といった行動が大切
だということです。何度も
取材し、記憶に残る広報紙
づくりに励みます。(田代)



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>